

子ども図書館 プラン整理表

プランの考え方	B1に幼児閲覧室、1階に小・中高校生閲覧室、2階に多目的室を設置するなど、フロアごとに機能をまとめ、使い勝手のよい、読書環境をつくります。また、閲覧空間を壁のないフレキシブルで開放的な空間になるように努めるとともに、蔵書数にとられない、子どもたちがゆったりとくつろげる、快適な読書空間を目指します。
---------	---

フロア区分	図書館機能
B1階	幼児閲覧室、子ども専用トイレ、事務室、会議室、研修室、閉架室
1階	小・中・高校生閲覧室、シビックプライドコーナー(児童文学の顕彰、エントランスホール(リフレッシュコーナー含む))
2階	多目的室、中・高校生閲覧室(調べ物コーナー含む)、ギャラリー(本の展示など)

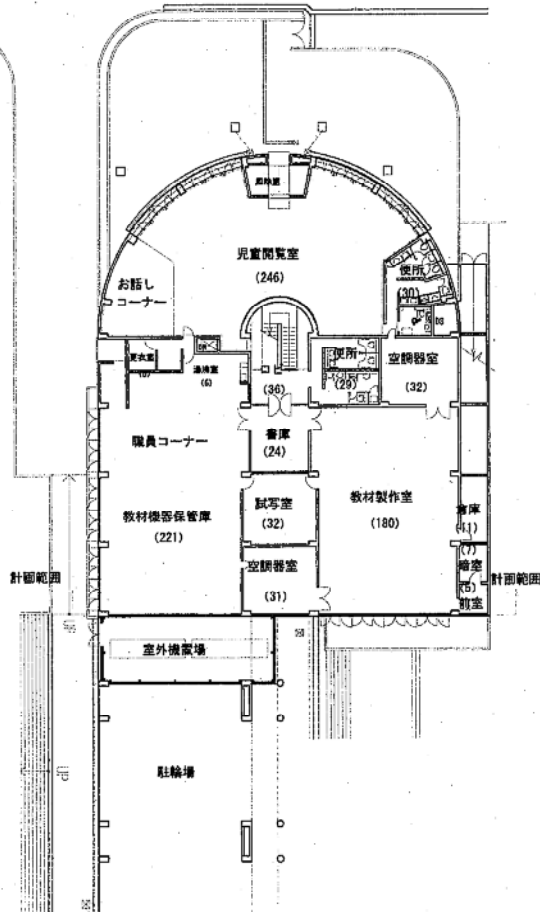
諸室	所管	延床面積
事務局	子ども図書館	178㎡
研修室	子ども図書館	60㎡
会議室	子ども図書館	31㎡
閉架室	子ども図書館	96㎡
開架室	子ども図書館	706㎡
幼児閲覧室	子ども図書館	240㎡
小学生閲覧室	子ども図書館	152㎡
中高生閲覧室	子ども図書館	334㎡(229+106)
エントランスホール	子ども図書館	207㎡
小計	子ども図書館	1,298㎡
多目的室	共有	206㎡
(仮称)児童文学室	文化企画課	95㎡
【能力】		
蔵書能力(開架)		3万冊
蔵書能力(閉架)		6万冊
閲覧席		80席
多目的室		85席
会議室		24席
リフレッシュコーナー		30席
【その他】		
		ギャラリースペース

■ 現況平面図

地下1F平面図

- Y1 Y2 Y3 Y4 Y5 Y6 Y7 Y8 Y9 Y10 Y11

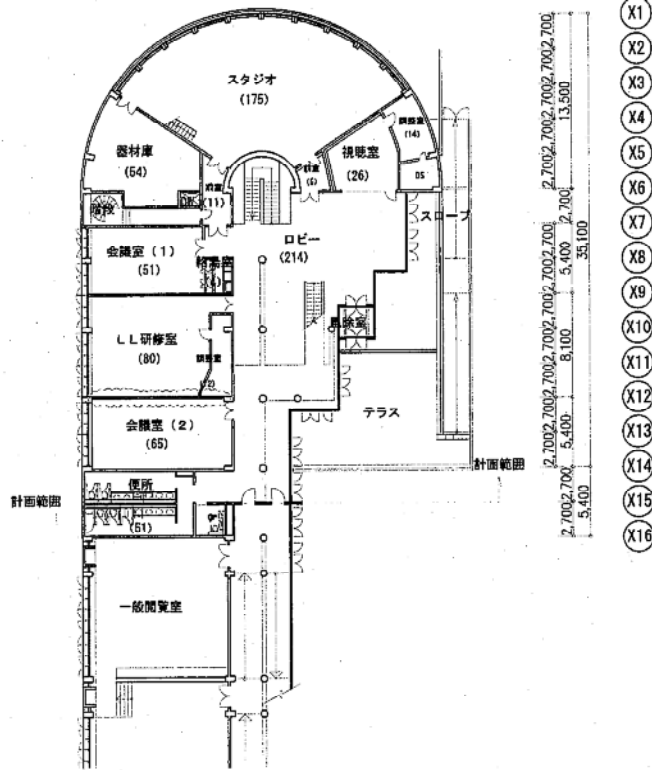
27,000 2,700
2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700



1F平面図

- Y1 Y2 Y3 Y4 Y5 Y6 Y7 Y8 Y9 Y10 Y11

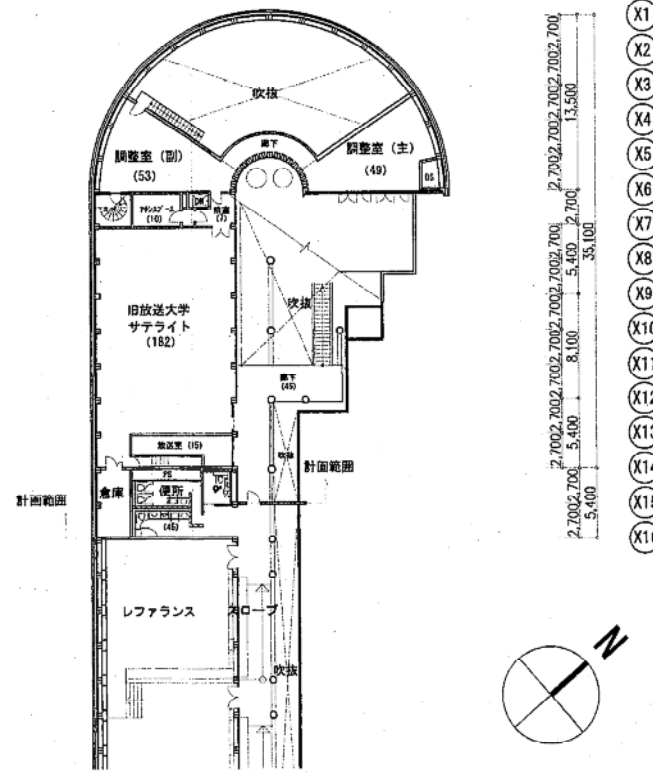
27,000 2,700
2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700



2F平面図

- Y1 Y2 Y3 Y4 Y5 Y6 Y7 Y8 Y9 Y10 Y11

27,000 2,700
2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700



子ども図書館に併設する児童文学の顕彰コーナーについて

■検討している機能

- ・本市ゆかりの児童文学者・口演童話家の紹介・資料展示
(みすかみ等の「小さい旗」、阿南哲朗等の口演童話、他)
- ・本市ゆかりの児童文学作品の閲覧
- ・読書活動を促進するイベント・ボランティア活動の場
- ・コンクールなどの作品展示スペース
- ・事務室・資料保管庫



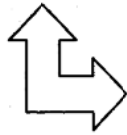
■子ども図書館に併設した場合のイメージ

子ども図書館

子どもの読書活動を総合的に推進するための拠点として、「各市立図書館の児童サービスの総括」と「学校支援機能」を担う。機能は、「子ども向け専門図書館」「シビックプライドを醸成する図書館」など。

児童文学作品の閲覧(全般)
読書活動を促進するイベント
読書関連ボランティアの活動

相互連携
施設利用

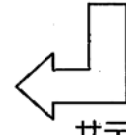


文学館

北九州市ゆかりの文学者と文芸活動に関する資料を収集し、保存、調査、研究し、公開することで文学の啓発・普及に寄与する。今後、推進していく主な取り組みとして「子ども向けの展示の充実」などがある。

資料収集と保存、調査・研究
みすかみ・阿南の文箱展示
企画展示や文学賞などの催し

サテライト管理



児童文学の顕彰コーナー

作家等の紹介
資料展示
閲覧(市のゆかり)

調査・研究
研究資料の収集
展示の監修

■子ども図書館に併設するメリット

- ①利用者の利便性が高い(中央図書館、子ども図書館、文学館、勝山公園などが隣接)
- ②図書館や文学館のイベントやボランティア活動(読み聞かせ等)と連携できる
- ③子ども図書館の付帯施設(書籍の閲覧、活動スペース)の利用が可能